

自然環境学習グループ通信

発行者 公園サポーター自然環境学習グループ

3月6日は「啓蟄」です。土の中で 冬ごもりをされていて虫たちが地上に這い出てくる日です。暦のうえでは春ですがここアルプスあづみの公園ではまだ一面雪景色です。でも森の梢では野鳥がさえずり、樹木たちは春に備え花芽や葉芽を膨らましてきました「春分の日」を迎えるころには公園のあちらこちらでダンコウバイやクロモジの黄色の花が咲き始めます。さあ公園を散策し残り少ない雪景色を楽しみながら小さい春を探してみませんか！

森を散策しながら野鳥をさがしてみませんか！キツツキたちのドラミングが聞けるかも

コゲラ

アオゲラ



混群していたヤマガラ、エナガ、

シジュウガラ、コガラ、コゲラなどの野鳥たちが春、繁殖期を迎えそれぞれ自分たちの群をつくりやがてカップルが誕生し、巣づくりに入ります。



コガラ



アトリ



ヤマガラ



シジュウガラ



マンサク



エゴノキ



バッコヤナギ



コブシ



タムシバ



オオカメノキ



ガマズミ

公園の冬芽たちは春を向かえてふくらみを増してきています。森の木々の花たちはダンコウバイなど黄色の花から咲きはじめやがてコブシ、オオカメノキ、ガマズミなどの白色の花が公園の森をにぎやかに彩ります。

なぜ春先に咲く花は黄色が多いのでしょうか！



カワラヒワ



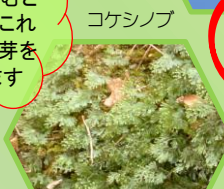
ダンコウバイ

3月春の声を聞くとまずマンサクが一番に咲き春分の日を迎えるころ黄色のこれらの花が一斉に花を咲かせます



オオイヌノフグリ

雪解けが進むと雪の下からこれらの野草が芽を出してきます



コケシノブ

公園はまだ冬真っ只中スノーシューで森を散策しません



春を迎える溪流沿いを散策してみませんか